

令和5年度 第1回区自治協議会会長会議		
日 時	令和5年6月9日（金）午前9時30分 ～ 午前11時00分	
会 場	新潟市役所本館 3階 対策室1	
出席者	会長	前田 義憲 北区会長、 佐藤 雅之 中央区会長、 中島 純 秋葉区会長、 大谷 一男 西区会長、 佐藤 清 東区会長、 中野 高子 江南区会長、 高橋 直廣 南区会長、 吉田 金豊 西蒲区会長
	事務局等	市民生活部長、市民協働課長ほか
傍聴者	1名	
主な議題	<p>1 開会</p> <p>2 自己紹介</p> <p>3 区自治協議会会長会議について</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料2「区自治協議会会長会議について」及び資料3「新潟市区自治協議会会長会議要綱」に基づき、同会議の概要について、事務局から説明がありました。 <p>4 座長の選任について</p> <ul style="list-style-type: none"> 互選の結果、大谷 西区会長が座長に選任されました。 また、座長が会議に欠席した際に、座長職務を代行できるよう副座長を1名選任することについて、座長から提案があり、承認されました。 互選の結果、佐藤 中央区会長が副座長に選任されました。 <p>5 議題</p> <p>(1) 各区自治協議会について</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料4「各区自治協議会について（第9期委員構成、令和5年度自治協提案事業）」に基づき、第8期からの委員構成の変更点や、今年度取り組む区自治協議会提案事業の概要などについて、各会長から報告がありました。 <p>【各会長からの報告内容】※西蒲区～北区の順に報告</p> <p>(西蒲区)</p> <ul style="list-style-type: none"> 総務部会では、防犯・防災、文化・スポーツ等の分野を所管しており、第8期には9つの地域コミュニティ協議会対抗の運動会や防災演劇を企画した。 健康福祉部会では、脳科学者の先生による講演会を第8期は実施した。 まちづくり・産業部会では、第8期に、西蒲区の魅力をドローンで撮影したPR動画を作成した。 第9期の事業内容については、今後の部会で検討していく。 <p>(西 区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみ拾いSNSピリカの活用、環境美化パートナー制度等を通じて、区民の美化意識向上を図るための取組みを実施する。 	

- 令和4年度に実施したアンケートとワークショップの結果に基づき、広い世代に向けて、支え合いの大切さ普及事業を展開していく。
- 西区の様々な魅力（西区八景）を活用したイベントを実施し、フォトコンテストやWebサイトによる魅力発信を現時点では検討している。
- 防災や減災への疑問を解消し、災害時に区民が迅速に対応できるよう防災力向上事業に取り組む。
- 今年度も西区アートフェスティバルの開催を通じて、大学などと連携しながら学術・文化豊かな西区の魅力を発信していく。

（南 区）

- 委員構成については、昨年度、女性活躍の必要性を学ぶ講演会を開催するなど、女性委員の登用を推進し、第9期は女性割合を43%まで上げることができた。
- 第1部会では、「クリーンアップみなみ区事業」と「南区ウォーク&ライド体験事業」を通じて、地域全体で環境美化、防災意識の醸成を図る。
- 第2部会では、「南区家族ふれ愛事業」と「夏休みの宿題サポート事業」を通じて、子育てをする家庭の負担軽減、地域人材の活用による世代間交流を図る。
- 第3部会では、昨年度に引き続き、六斎市の魅力と農産物のPRを行う。また、区外の人をターゲットに南区の魅力を発信するバスツアーを検討している。
- 南区まちづくり活動サポート事業では、南区区ビジョンまちづくり計画に掲げる目指す区のすがたの実現に向けた取組みを推進する。

（秋葉区）

- 第8期に秋葉区民を対象に実施した幸福度調査の結果より、子育て世代や生産世代の人口の満足度をいかに引き上げていくかが秋葉区の課題であると考えている。
- 持続可能な地域づくりを目的に、区ビジョンを区内11の小学校区に落とし込み、地域コミュニティ協議会が主体となる将来ビジョン策定に向けたワークショップを開催する。
- 地域課題解決につながる事業を区内の団体から募集し、区自治協議会と協働しながら取組みを支援する「きらめきサポートプロジェクト」を今年度も実施する。
- 区自治協議会の認知度向上に向け、コミュニティFMを活用した広報活動にも取り組む。

（江南区）

- まちづくり部会では、「江南区魅力発掘・発信プロジェクト」、環境・教育部会では、「多世代交流“みらい”プロジェクト」、安心安全部会では、「誰でも安心して安全に暮らせるまちづくりプロジェクト」を実施する。
- 地域コミュニティ協議会の課題解決に向けて、「地域課題解決サポートプロジェクト」を引き続き実施する。
- 近年はコロナの影響による活動の制約を受けながらも、まちづくり部会では、委員自ら地域へ出向いて魅力を発掘し、マップ作りを通じて発信するなど、それぞれの委員が地域の魅力を再認識する良いきっかけとなった。

(中央区)

- 新潟市区自治協議会条例を踏まえ、諮問機関としての業務、地域づくりの業務に係る活動を心掛けている。
- 諮問機関の業務としては、的確な答申ができるよう、会議前に審議内容に関する勉強会・研修会を開催している。
- 中央区では各部会で考え、討議することに重点を置いている。まずは、所管分野において身近な課題の洗い出しと議論を行い、深掘り調査や効果検証するための事業を展開しながら課題解決を図っていく。

(東 区)

- 委員構成については、女性割合が56%となっており、全体会や部会では活発な意見交換が行われている。
- 第9期の提案事業については、1年目は地域課題の調査研究として、東区民を対象とした意識調査を行い、2年目で調査研究を踏まえた事業を実施する。
- 5月の部会では、意識調査のイメージを膨らませるために、各部会の所管分野を基本として意見交換を実施した。
- 今後は各部会で令和6年度の事業実施を見据えた課題の掘り起こしができるように、意識調査の設問内容等を検討していく。

(北 区)

- 第9期より、1年目は調査研究、2年目は事業実施という方式で提案事業を展開する。
- 現在、各部会でどのような事項を議論するのか検討している。
- 委員は各団体の推薦のもとに選出されているため、出身母体から多様な意見を吸い上げ、協議会で問題を指摘、解決に向けた議論をするといった役割の認識、会議運営を心掛けていきたい。

(2) 令和5年度全体委員研修会について

- 資料5「令和5年度全体委員研修会について」に基づき、事務局からの提案を踏まえ、研修テーマ及び開催形式の方向性について意見交換が行われました。
- 開催時期は、9月1日(金)～9月7日(木)の期間で平日の午後を想定し、調整を行うとしました。
- 開催形式については、講義とテーマ別討議を合わせた方向性で検討することとしました。
- 研修テーマの方向性については、意見交換の内容を参考に、事務局で検討を進めることとしました。

【主な意見】

- ワークショップ型は、8区全てオンライン中継での開催となってしまうため、講義と全体討議(意見交換)を合わせた形式での実施が望ましいと思う。
- 全体討議については、委員それぞれの問題関心に応じてテーマを選択し、部会のような形式で行うテーマ別討議にはいかがか。

- スキルアップ重視の研修というよりは、前半の講義で区自治協議会に関する大きなテーマについて学んだうえで、後半のテーマ別討議に展開できると高い満足度にもつながると考える。
- テーマ別討議では、各区の取組みなどの情報共有ができるるとより効果的な研修になるのではないか。
- 講義については、自治協議会の歴史や今後求められる展開なども含めた内容を組み立ててみてはどうか。
- 講義とテーマ別討議を合わせて実施する場合、1時間30分では時間が足りないので、研修時間も検討事項に加えてほしい。

(3) その他

- 多様な主体との協働によるまちづくり、人づくりの推進に向けて、今年度より実施する新規事業（「まちづくりパートナーシップ事業」、「地域力UPチャレンジ事業」）について、事務局から情報共有がありました。
- 次回の区自治協議会会長会議の開催時期について、事務局から情報共有がありました。

6 閉会

会議資料

□次 第

- 資料1 : 区自治協議会（第9期）会長名簿
- 資料2 : 区自治協議会会長会議について
- 資料3 : 新潟市区自治協議会会長会議要綱
- 資料4 : 各区自治協議会について（第9期委員構成、令和5年度自治協提案事業）
- 資料5 : 令和5年度全体委員研修会について
- 参考資料 : 令和5年度会議体設置状況一覧表